



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.202

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2025.1

新年のご挨拶 理事長・院長 石井 洋光

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、医療・介護・福祉分野が最も影響を受けるとされている「2025年問題」の年にいよいよ突入し、国民の5人に1人が75歳以上の後期高齢者となる超高齢化社会が始まりました。

老齢年金や介護保険などの社会保障費が増加の一途をたどり、さらに2040年にかけて85歳以上の人口を中心とした高齢者と現役世代の減少による医療・介護・福祉の働き手の不足が深刻な問題を引き起こす可能性があるかと予想されます。

2025年問題が提起されて以来、国は診療報酬改定の中で、医療機関に人口減少社会に対応する医療体制作りの方角性を提示してきました。その結果、在院日数の短縮化と在宅医療の普及が進み、いわゆる「治す医療」のみでなく「治し支える医療」を実現していくために様々な変革が進行しています。

当院も、複数の慢性疾患や医療と介護の複合ニーズを有することが多い高齢者の要となる「在宅療養支援病院」の役目を果たしていくよう邁進してまいります。

また、当法人においては、2024年3月 石井病院 東隣に「在宅支援ステーション」を開設しました。同施設には、医療ソーシャルワーカーや訪問看護師、訪問リハビリ職員、ケアマネージャーなどが在籍し、患者様、ご家族様、地域の皆様の医療・介護・福祉に関する不安やお悩みに対して専門性の高い相談支援を行い、近隣の医療・介護・福祉機関と連携を図り総合的なサポートを行っています。

本年も地域の皆様に寄り添った医療・介護・福祉の提供を目指し、職員一同更なる成長を目指して日々精進してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



理事長・院長
いしい ひろみつ
石井 洋光

第5回 日本フットケア・足病医学会年次学術集会 において 石井 洋光 院長 が 下肢についての「口演発表」「ポスター発表」を行いました

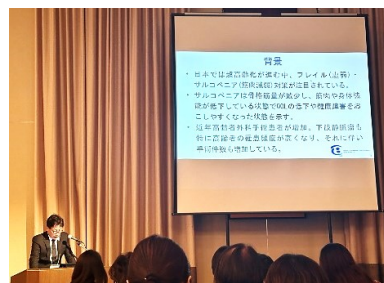
第5回 日本フットケア・足病医学会年次学術集会が、2024年11月29日（金）、30日（土）に神戸国際会議場/神戸ポートピアホテルで開催されました。

神戸での開催ということもあり、当院からは院長を始め、看護師、検査技師、管理栄養士などのコメディカルも多数参加し、学会や懇親会における他院との交流も含めて大変貴重な実りある体験となりました。

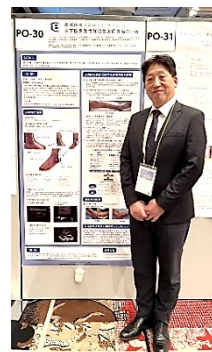
口演発表では「**生体電気インピーダンス法を用いた高齢下肢静脈瘤手術患者における骨格筋量の検討**」をテーマに、超高齢化が進む中、フレイル・サルコペニア対策が注目されている一方、近年高齢者外科手術患者が増加し、それに伴い高齢下肢静脈瘤手術件数も多くなっている現状を踏まえ、当院の高齢下肢静脈瘤手術患者におけるサルコペニア診断の必須項目である骨格筋量減少について検討した結果を発表しました。

さらに、ポスター発表では「**在宅療養で治療が困難であった左下腿多発性難治性皮膚潰瘍の1例**」をテーマに、在宅療養で治療が困難であった左下腿多発性難治性皮膚潰瘍の症状がある患者さんに対して、多職種連携のもと、早期の栄養評価と介入を含めた集学的治療を行い潰瘍が治癒した症例を報告しました。

今後も積極的に学術活動や他院との交流を図りながら、当院におけるチーム医療を中心とした経験・技術を培い、地域の皆様方に安全・安心、信頼される医療・介護を提供できるよう努めて参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。



(口演発表の様子)



(ポスター発表)



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

～ 新年のご挨拶 ～

謹んで新年の喜びを申し上げます。

昨年末よりセンター長として透析業務に携わらせて頂いています。

熱心なスタッフが患者様と共に築き上げてこられたじんけいクリニックを少しでもより良きクリニックになる様にお力添えをさせて頂ければと思っています。

特に、これまでの私の経験を生かして、透析患者様特有の高度の石灰化病変を伴う冠動脈疾患の早期発見・治療や下肢動脈閉塞性動脈硬化症を含んだ足病変に対するフットケアや多職種チームによる運動療法・栄養管理に取り組んでいこうと思っています。

皆様が御多幸であります様、御祈念申し上げます。



石井病院副院長兼
透析センター長
かじうら たかゆき
梶浦 孝之

新春の候、皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は地域医療のさらなる充実と患者様の健康向上に向け、多くの方々からご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

当クリニックでは、透析治療を通じて患者様が安心して日々の生活を送れるよう、医療技術の向上とともに、患者様一人ひとりに寄り添う医療、ケアを提供することを大切にしております。これまでの取り組みを基盤に、今年も地域医療の一端を担う施設として、より良い医療の実現に向けた努力を続けてまいります。

また、地域の関連医療機関との連携を一層深め、患者様にとって最善の医療体制を構築することを目指してまいります。皆様と力を合わせ、地域全体の医療の質を高めるために尽力していく所存です。

本年も、どうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって健康で実り多い一年となりますようお祈り申し上げます。



人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
院長
おはら いちろう
小原 一郎

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

旧年中は診療体制の変更があり、透析センター長として梶浦病院副院長そしてクリニック院長として小原院長が就任し、院長として積極的な診療を行いながら、梶浦センター長の緻密なサポートがあり、スタッフ全員が、患者様へ全力を尽くす事で現在の治療が行えていると全スタッフに感謝しております。これからの透析治療をより良い治療へつなぐため更なる発展を目指し、「透析ならじんけい」を合言葉に成長し、皆様の期待している医療を提供できるよう、誠心誠意邁進してまいります。

患者様・家族様・地域の皆様には、これからも満足いただける治療を提供する為、「常にお声を聞きながら」医療を提供してまいります。どうぞこれからも変わらぬ御指導を賜りますよう、そして本年も皆様が御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



仁恵会本部事務課長
兼人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
事務長
はら しんいちろう
原 真一郎

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 井口 上野 土谷 森

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>